



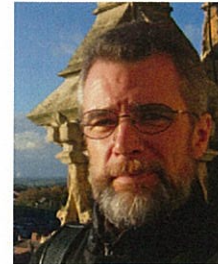
The Newsletter of the All Saints' Choir Alumni Association, Rikkyo University

聖歌隊OB・OG会報

第五号



立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊OB・OG会
会長 植野 幸和



立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊
隊長 スコット・ショウ

主の平和 立教学院諸聖徒礼拝堂OB・OG会の皆さまにおかれましては、お元気でご活躍のことと存じます。

本年は、準備中でありましたOB・OG会のウェブサイト（ホームページ）が開設され、今後一層のコミュニケーションの充実が図れるものと期待しております。ウェブサイトを活用したいろいろなアイデア、ご意見、ご要望をお寄せいただいて、少しずつ、コンテンツの充実、使い勝手の良さを目指していきたいと考えていますので、くれぐれも会員の皆さまのご協力を、お願い申し上げます。

また、本年は、OB・OG会総会および懇親会のご案内を皆様に差し上げました後、西村哲郎チャプレン、矢澤信夫チャプレンの訃報に相次いで接しました。音楽への造詣の深い西村チャプレンは、在学時、カナダ聖公会の新しい聖歌集や、Andrew Lloyd WebberのJesus Christ Superstarをご紹介いただくなど、キリスト教音楽の新しい動きに接し、多くの刺激を受けました。また、矢澤チャプレンは、大学1年時に、洗礼を授けていただくなど、キリスト教や礼拝の「いろは」をご教示いただいた先生であり、そのご逝去は、残念でなりません。両チャプレンのとこしえの平安を、心よりお祈り申し上げます。

最後に、聖歌隊の奉唱がますます広がることによって、生き生きとした豊かな礼拝が実現され、感謝、賛美の礼拝が、ますます充実していくことを願っております。

OB/OG会の皆様、こんにちは。

今年の総会の夕拝や懇親会でお会いするのを楽しみにしています。この1年、多くのことがありました。まず、皆様の支援のおかげで実現したイギリス研修旅行が3月はじめ、無事終わりました。会報で詳しい報告を読まれるでしょうが、ご理解と援助にたいへん感謝します。

また、校宅5号館がなくなり、去年秋から5号館の「ペントハウス」と呼ばれる部屋で練習をしています。ここは一時的な練習場所ですが、音響をよくするために改装されました。そしてすべての楽譜、グランドピアノ、練習用オルガンが全部一箇所に集められました。新しいチャペル会館プロジェクトが実現し、私たちのホームベースであるチャペルに近い所にクアイアルームが出来ることを願い、その時までペントハウスにいますから、この新しいスペースを覗きにいらして下さい。

今年の隊員は約35名で各パートに力強い声の持ち主が存在します。特に男性には経験をつんだテナーとベースがそれぞれ6名おり、毎週の練習や礼拝奉仕の心強い味方です。

2007年度現役活動報告

- 3月 1-2日 Spring Training
6-12日 春合宿 (千葉・岩井海岸 館山
聖アンデレ教会へ礼拝奉仕)
(中旬) 春の奉唱会練習開始
23日 学位授与式

前期活動開始

- 4月 (上旬) 新入生歓迎活動
4-5日 入学式
8日 イースター礼拝
28日 春の奉唱会
5月 5-6日 新歓ハイク (千葉・岩井海岸)
9日 創立記念礼拝
26日 レディースクラブ50周年記念礼拝
27日 ペンテコステ礼拝
6月 3日 Choir Festival (池袋チャペル)
30日 OB・OG総会
7月 (下旬) Summer Training I

後期活動開始

- 9月 (上旬) Summer Training II
4-10日 夏合宿 (群馬・片品村)
(中旬) レクイエム奉唱会練習開始
22日 入隊式
10月 20日 レクイエム奉唱会 (Campra)
27日 逝去者記念礼拝
12月 1日 ウィリアムズ主教記念礼拝
12日 メサイア演奏会
22日 Lessons & Carols
24日 大晩祷、キャロリング、
深夜ミサ
25日 クリスマス礼拝

2008年度現役活動報告と計画

- 1月 英国親善研修旅行練習開始
2月 22日～ 英国親善研修旅行 (～3月6日)
3月 5日～ 春の奉唱会練習開始
23日 イースター礼拝
24日 学位授与式

前期活動開始

- 4月 1-3日 入学式
4-9日 チャペルガイダンス
26日 春の奉唱会
5月 5-6日 新歓ハイク (千葉・岩井海岸)
9日 創立記念礼拝
6月 28日 OB・OG総会
7月 (下旬) Summer Training I

後期活動開始

- 9月 (上旬) Summer Training II
9-15日 夏合宿 (群馬・片品村)
7日 レクイエム奉唱会練習開始
26日 入隊式
10月 25日 逝去者記念礼拝
レクイエム奉唱会 (Mozart)
12月 2日 ウィリアムズ主教記念礼拝
8日 メサイア演奏会
20日 Lessons & Carols
24日 大晩祷、キャロリング、
深夜ミサ
25日 クリスマス礼拝
1月 (上旬) 後期活動終了、スタッフ交代



2008年度前期現役活動報告

1月、スタッフ交代を終えて、現在の7人が2008年度スタッフとして活動を開始いたしました。1月下旬から練習を開始し、2月には約2週間の行程で英国親善研修旅行を行うことができました。多くの方々のご支援により、たくさんのことを学び得る充実した2週間でした。今回の旅行によって、「奉仕する」ということへの意識を再確認し、技術的にも精神的にも成長したと感じています。帰国後3月24日にはイースター礼拝での奉仕を行いました。卒業式前でしたので、英国旅行に参加したメンバー全員でアンセムの奉唱を行うことが出来ました。4月の春の奉唱会では、イギリスで歌いまた指導を受けた曲を中心に演奏いたしました。第1部では、イギリスにて初演したSteven Morgan先生作曲の「愛がすべて」を日本初演し、また、新聖歌集の中から、坂本日菜さん作曲、青木瑞恵さん作詞の聖歌185番「あかつきの光」も奉唱いたしました。「愛がすべて」は今回の英国親善研修旅行のためにMorgan先生が作曲して下さい、現地でも好評だった曲の一つです。英国旅行の成果を発揮するべく、また日々支えて下さる方々への感謝を込めて演奏できたことを嬉しく思います。

4月、今年も新入生13名を迎え、前期の活動を開始いたしました。5月11日のペンテコステでは、

新入生も一緒に主日礼拝での奉仕を行うことが出来ました。新入生が入ったことで、男声女声ともにバランス良く強化され、和気藹々と練習しています。今年から朝・夕の祈りの曜日が木曜日から金曜日に変更され、金曜日・日曜日に礼拝奉仕を行うこととなりました。火曜日と木曜日に夕方の練習を行い、水曜日は昼休みに練習を行っています。5月からは、ボイストレーナーの方にもご指導いただいております。

今年は聖歌隊交流会やChoir Festivalのように大きな行事がないため、前期は日々の礼拝奉仕が活動の殆どです。だからこそ、ひとつひとつの礼拝を心を込めて奉仕し、イギリスで学んだことを活かしつつ、会衆の祈りを支える、という私たちの活動の基本精神を大切にしながら取り組んでまいりたいと思います。

後期には夏合宿、入隊式、レクイエム奉唱会、更にクリスマスの時期にはメサイア演奏会、クリスマスコンサートなど、多くのイベントが控えています。今年の試みとして、年に2回、聖歌隊内でのソロ発表会も予定しています。前期に養った聖歌隊員としての意識を大事にしながら、音楽的にも精神的にもこれから更なる充実を図りたいと思う次第です。

(文責：加藤三和)



Cambridge St. Catharine's College Chapel前にて (撮影者：近藤英幸)

英国親善研修旅行で得たもの

2008年2月22日から3月6日までの2週間、私たち現役隊員はイギリスを訪れました。学生は40名（聖歌隊26名、オーガニスト・ギルド14名）、引率者として、スコット・ショウ隊長、崎山裕子先生、香山洋人チャプレン、上田亜樹子チャプレンの計44名が参加し、全日程を通じて、大変貴重な体験をすることができました。

2月22日、Heathrow空港には予定よりも若干早い時刻に到着し、その後バスでCambridgeのホテルまで移動しました。ホテルでは、実行委員会と引率の先生方でミーティングを開き、今後の予定や注意点などを確認し、22時に全員が就寝しました。

23日には早速、学術都市Cambridgeを探索しました。参加者を2グループに分け、Cambridge市内とKing's Collegeを交互に見学しました。初めて入るイギリスの伝統ある大学チャペルで私たちと年代のKing's Collegeの聖歌隊員たちが歌っている姿はとても刺激的でした。King's

Collegeではその後、Evensongにも出席しました。

24日、早朝にCambridgeを出発し、バスでEly Cathedralへ向かいました。聖餐式では、すべて英語の式文に戸惑う参加者もいました。聖餐式終了後はCathedral内を見学しました。なかでもLady Chapelでは残響が7秒間続くということもあり、ガイドさんの許可を得て今度は私たちがAve verum corpusを歌いました。その後夕方にはCambridgeに戻り、St. Catharine's Collegeにて、同college choirと合同でEvensongへの奉仕を行いました。

25日、前日に引き続き、午前中はEdward Wickham氏によるレッスンを受けました。レッスンでは、母音の発音や発声の概念などについて指導していただき、大変多くのことを学ぶことができました。午後にはGodmanchesterへ向けバスでCambridgeを出発しました。Godmanchesterでは、町の中心部にあるChurch of St. Mary the Virginにて、ショウ先生のお知り合いのDavid Busk司祭から街の説明を受けた後に、26



Leicester Cathedral内にて (撮影者：近藤英幸)

日のコンサートの練習を行いました。この日から、参加者は同Church会衆の方々のご自宅でホームステイをしました。

26日は、午前中はGodmanchesterの隣町Huntingtonでの自由行動、夕方にはChurch of St. Mary the VirginにてEvensongとコンサートを行いました。Evensongでは、マリア・シメオンの賛歌や詩編、主の祈りなどを、私たちが普段立教チャペルで行っているように日本語で奉唱しました。また、コンサートは大成功でした！ ホストファミリーの方々も大勢がコンサートに来てくださり、感謝の気持ちを伝えたいという私たちの想いも非常に高まりました。また、終盤には、観客としても来てくださった同Church聖歌隊の方々とも合同で聖歌を歌うなど、聖歌隊メンバー全員が観客の方々との一体感を得ることができました。「奉唱に必要なものってなんだろう」。聖歌隊はただ歌うだけの団体ではないことを、隊員たちは感じ取ったように思います。コンサート後は、ホストファミリーの方々が交流会を設けてくださいました。

27日には、早朝にLeicesterへ向けGodmanchesterを出発しました。ホストファミリーの方々からは「ぜひまた来年きてほしい」とのお声をいただき、最初はホームステイにやや不安だった私たちも、本当にこの街に滞在してよかった、と思いました。Leicesterでは、到着後にすぐLeicester Cathedralへ向かい、Evensongに参加しました。

28日、29日はLeicesterで過ごしました。Leicester Cathedral聖歌隊長のJonathan Gregory氏のレッスンを受け、Evensongでの奉唱も行いました。また、29日には近隣の街Market Harboroughにある、St. Dionysius Churchにてコンサートを行いました。

3月1日にはLeicesterを出発し、Londonへ向かう途中、Windsor Castleの見学を行いました。

3月2日からはLondonです。まず私たちはSt. Paul's Cathedralの聖餐式に出席しました。Cathedralの白く輝く塔からロンドン市内中に鐘の音が響いており、聖餐式にも数え切れないほどの市民が訪れていたのがとても印象的でした。



Leicester County Council Officeにて
Mike Jones Leicester州議会議長ご夫妻（中央）と
（撮影者：近藤英幸）

また、午後にはWestminster AbbeyでのEvensongに出席しました。ここには普段私たちが歌っている曲の作曲者も多く眠っており、私たちの活動にゆかりのある場所でもありました。

3日、4日はCanterbury Cathedralの見学、Canterbury市内探索やロンドン市内での買い物や個人でのEvensong出席など、各自がイギリスでの最後の日々を楽しみました。夜には、宿泊先のホテルにて打ち上げを行い、無事にスケジュールが終了したことを互いに喜びました。

5日、すべての日程を終え、私たちはHeathrow空港から12時間のフライトを経て、日本に帰国しました。名残を惜しみつつ、私たちはイギリスを後にしました。

このイギリスで得たもの。それは、大きく分けて「音楽技術の向上」と「人々との関わり」であるといえるでしょう。前者については、日本にいる間から何度も練習を重ね、現地でもEdward Wickham氏、Jonathan Gregory氏にレッスンを受けることができました。また、2回行ったコンサートではどちらもスタンディングオベーションをしていただけました。これらの成果については、既に行われた2008年度春の奉唱会にてご確認いただけたと思います。

他方、今回のイギリスでは、「ホームステイ」という過去にない新しい試みを行いました。Godmanchesterという街で、David Busk司祭のご尽力によって2月25日、26日の2泊を、私たちは各ホストファミリーの方々のもとで本当に楽しく過ごすことが出来ました。



Canterbury Cathedral前にて（撮影者:近藤英幸）

2月26日のコンサートが大成功となった理由を、私たちは後日行った「反省会」にて、「ホームステイを行ったことにより、ホストファミリーの方々への感謝を伝えなかったから」と結論しました。立教チャペルにおいても、聖歌隊の活動は決して聖歌隊単独のものではなく、会衆の方々との関係によって成り立っています。ただ歌うだけではなく、なぜ歌うのか、奉唱とは何か。そのようなことを私たちはホームステイを通じて学びました。これにより、私たちは精神的にも成長したといえるでしょう。

このツアーのためにOB・OGの皆様には多大なご支援をいただき、現役一同本当に感謝しています。金銭面のみならず、激励の言葉や企画進行に関しての助言を下さった方もいらっしゃいました。今回のイギリスの実現は、これらのようなOB・OGの皆様のご協力がなければ到底かなうものではありませんでした。この場を借りて、ご報告とともに、深く御礼申し上げます。

2007年度英国親善研修旅行実行委員長
近藤 孝幸

OB・OG会会計報告(2007年度)

役員会会計担当

に、現役への援助金として賛助金(1口:5,000円)のご協力を賜りたいと存じます。

(2008年3月31日現在)

〔収入の部〕

(1)2007年度の年会費、賛助金は、2008年3月31日までに

年会費	151名	151,000円
賛助金	93名	409,500円
合計		609,400円

のご協力、お振込みをいただきました。年会費で5名、賛助金で16名、ご協力者が増加いたしました。まことに有難うございました。

(2)年会費と賛助金のご協力者のご芳名は、別掲のとおりです。

〔支出の部〕

(1)奉唱会援助金は、昨年秋のアンドレ・カンプラのレクイエムのエキストラ謝礼などです。

(2)別掲の本年2月22日～3月6日に実施された現役の英国研修旅行に100,000円援助いたしました。

(3)総会・懇親会に現役を招待しましたが、当日の総会・懇親会会費だけでは足りず、60,000円の補助をいたしました。また、当日のチャペルへの献金とオーガニストへの謝礼として各々10,000円支出いたしました。

OB・OGの方々の一人でも多くの参加があれば、総会懇親会補助を少なくできます。

(4)プランスタッド隊長の小平墓地管理費として、年額1,000円を支出しております。

(5)別掲のとおり、OB・OG会のホームページを開設しましたが、今年度の経費として47,911円支出いたしました。

〔会費納入と賛助金ご協力のお願い〕

(1)2008年度は、秋のレクイエム奉唱会にモーツァルト作品の奉唱を予定しています。エキストラ謝礼など、昨年度以上の援助が必要となります。

(2)総会・懇親会のご案内、春と秋の奉唱会のご案内、会報の発行などを含めると、文具・通信・印刷費に、年額概算30万円程度必要となります。

(3)できるだけ多くの会員の方々に、会の運営費として年会費1,000円の納入をお願いするととも

〔収入の部〕

前年度の繰越金	296,535円
年会費	151,000円
賛助金	409,500円
仮払戻入	50,000円
合計	907,035円

〔支出の部〕

奉唱会援助金	130,000円
英国研修援助金	100,000円
文具費	53,233円
通信費	163,550円
印刷費	98,540円
総会懇親会補助	60,000円
献金・謝礼	20,000円
墓地管理費	1,000円
ホームページ	47,911円
次年度への繰越	232,801円
合計	907,035円

賛助金協力者ご芳名(2007年度)

(敬称略)

〔名誉会員ほか〕

ショウ・スコット ショウ万里子 猿田潤子 矢澤信夫 村岡明 広田勝一 柳時京 香山洋人 アンサンブル・フラビア (9名)

〔1939-50年代〕

鈴木茂弘 佐々木弘道 工藤俊雄 平野修(2) 古谷俊次 細田榮一 廣田淳一 大山省三 糟谷祐子 鈴木侑子 石川範子 今井和道 今井佐禧子(2) 笹部久美子 関武矩 関本実内藤博子(2) 小川春乃 坂本敬 佐藤健二郎 佐藤満寿哉 杉野一郎 (25名)

〔1960年代〕

小野翠 成田弘子 浜田健一 古市欣生 加藤清二 鏑木哲三 杉山榮一 福代亮三 山田弘美 芦澤順 糟谷愛 糟谷證 栗岩和彦

竜崎嘉明 高橋宏子 滝口俊子 谷市三 西章
岩川武彦 菊地滋子 伊藤三千子 内田研吾
田中桂子 (23名)

〔1970年代〕

相沢牧人 青山尚徳 青山博子 植野さなえ
植野幸和 大西信一 大西礼子 三浦洋子
山田正子 荒牧節子 徳武希美枝 小林悦子
須藤啓子 伊藤正人 伊藤弥寿世 高木慎二
徳住光則 石原雄二 桐迫馨代 栗原正志
栗原牧子 阿部智子 長田睦子 須藤茂
鈴木雅美 (25名)

〔1980年代〕

齊藤敦子 広瀬幹郎 末廣禎一郎 末廣里夏
相浦智 相浦猛 湯田勝彦 (7名)

〔1990年代〕

汲原宏枝 斎藤聡 森山弦人 森山友恵 (4名)

合計 93名 409,500円

年会費納入者ご芳名(2007年度)

(敬称略)

〔1939-50年代〕

鈴木茂弘 佐々木弘道 工藤俊雄 尾崎恒雄(2)
安永和夫 平野修(2) 古谷俊次 細田榮一
廣田淳一 小笠原汎 大山省三 糟谷祐子
鈴木侑子 松野裕子 諫山美保子 石川範子
板橋志津子 今井和道 今井佐禎子(2)
笹部久美子 関武矩 関本実(2) 内藤博子(2)
青木瑞恵 小川春乃 小出道也 坂本敬
佐藤健二郎 佐藤満寿哉 杉野一郎 (35名)

〔1960年代〕

小野翠 中川直美 成田弘子 浜田健一
古市欣生 保谷政孝 大澤祐二 加藤清二
鏑木哲三 杉山榮一 壇上仁江 鳥井祥子
福代亮三 伏木貞子 橋本圭子 長谷川淳子
山田弘美 芦澤順 糟谷愛 糟谷證 栗岩和彦
高木邦子 高橋委作 高橋芙木 滝口俊子
谷市三 竜崎嘉明 高橋宏子 宮谷祥子
宮谷仁太郎 鶴田洋子 西 章 大塚万紀子
岩川武彦 菊地滋子 鶴岡道子 伊藤三千子
内田研吾 田中桂子 (39名)

〔1970年代〕

相沢牧人 青山尚徳 青山博子 植野さなえ
植野幸和 大西信一 大西礼子 三浦洋子
山田正子 荒牧節子 徳武希美枝 増井真理子
吉田久美 五十嵐衛 河野純子 小林悦子
須藤恵子 伊藤正人 伊藤弥寿世 渋澤博子
高木慎二 徳住光則 石原雄二 榎本ひろ美
梶ヶ谷淑子 桐迫馨代 栗原正志 栗原牧子
阿部智子 長田睦子 須藤茂 湯浅宣子
佐々義子 鈴木雅美 田澤利之 谷井浩
安田裕子 (37名)

〔1980年代〕

齊藤敦子 高島なお子 玉野克子 藤岡比佐志
広瀬幹郎 那須待子 那須輝彦 松田正典
渡辺順子 菅原裕治 末廣禎一郎 末廣里夏
角田朝子 相浦智 相浦猛 小野信明 鈴木優子
内田幸子 湯田勝彦 (19名)

〔1990年代〕

三井美樹 汲原宏枝 鍋島博美 大野菜穂子
大野恭義 高橋由佳 横田麻子 武藤早苗
宝田裕子 長塚望 古谷秀子 矢内祐介 斎藤聡
細川澄子 森山弦人 森山友恵 (16名)

〔2000年代〕

平瀬寿美 千野恵 一戸祐子 矢島優里
渡邊麻美 (5名)

合計 151名 151,000円

OB・OGからのメッセージ — 2008年度 —

〔名誉会員〕

猿田 潤子 隊長夫人

残念ですが、今年も所用で欠席させていただきます。ご盛会を祈っております。

西村司祭、矢澤司祭のご冥福をお祈りします。

矢澤 信夫 チャプレン

齢を重ねるのみ、89歳になってしまいました。池袋は遠くなり、独りでは行けなくなりました。ご盛会を祈ります。

(矢澤信夫チャプレンは、本年5月27日、ご逝去されました。とこしえの平安を、心よりお祈り申し上げます。役員会)

西村 哲郎 チャプレン

体調を崩し、外出を控えて居りますので、失礼させていただきます。ご盛会を、お祈り致しております。

(西村哲郎チャプレンは、本年5月20日、ご逝去されました。とこしえの平安を、心よりお祈り申し上げます。役員会)

松原 榮 チャプレン

ご無沙汰ばかりで心苦しい限りですが、今回は体調がゆるせば、是非出席したいと思っています。

過日、聖ルカ・チャペルでの高橋秀先生のオルガン演奏会に行き、久々に、先生はじめ懐かしい方々にお目にかかることが出来ました。

また、西村哲郎司祭の通夜でも、いろいろな方々にお目にかかることが出来ました。

体の逝去は、とてもお名残り惜しい限りですが魂の平安を祈ります。

遠山 隆夫 チャプレン

年令84歳。殆ど外出ができませんので、失礼いたします。聖歌隊の活躍を祈り、よき伝統の継承を祈っております。ハレルヤ

大郷 博 チャプレン

増々のご発展を！！

村岡 明 チャプレン

皆様の益々の御活躍を祈っております。

西村哲郎チャプレン、矢澤信夫チャプレン、相次いで逝去され、淋しいことです。

広田 勝一 チャプレン

所用のため欠席となりますが、盛会をお祈りしております。

神崎 雄二 チャプレン

当日は、すでに教会の行事がありますので、残念ながら失礼いたします。老人ホーム、保育園・幼稚園、学童保育、それに教会の多種の仕事を楽しんで行っています。

柳 時京 チャプレン

定期総会および礼拝・懇親会の開催をお祝い申し上げますとともに、お招きいただき大変感謝いたします。当日は学内の別の用事で、近くにいなながらも出席することが出来なくて、とても残念です。新居への引越しと長男の立教大学入学(一浪後)など、新たな環境、新たな気持ちで迎えた今年度でした。

Choirの活動に大きく期待しています。

高橋 秀 カウンセラー

会の体制が整いつつあることを、お慶び申し上げます。役員の方々のご尽力に感謝します。

本年5月7日、聖ルカの夕の祈りに出て、関武矩さんにお会いし、往時を思い出しました。

私は、おかげさまで元気です。

〔一般会員〕

佐々木 弘道 (1949経済)

昨年暮の12月28日、帰宅の際、雪の坂道で転倒し、右膝を骨折し、最近漸く慣れて来ましたが、未だ歩行は不自由です。今回の会合は、残念ながら欠席致します。

梶原 達観 (T 1950文社)

84歳(大正13年生)、まだ現役で働いています。

立教大学池袋キャンパス。学会等で、時々お伺いしています。合唱のハーモニーが、キャンパス内で聞こえることがあり、大変なつかしい思いがします。

石川 善樹 (T 1951文英)

お蔭様で、今のところ特に悪いところもなく、週3日位フィットネスクラブに通い、先々月(4月15日~17日)は、蔵王スキー場の地蔵ロープウェイ終点から乗り場駅まで約10キロを、合計3人位しかいない、ほぼプライベートゲレンデ状態で滑り、大いに楽しんで来ました。来年は80歳、是非蔵王に挑戦したいものと願っています。聖歌隊の努力と発展を祈っています。

福澤 道夫(古木) (1951文英)

現在、社会福祉法人葛飾学園(子供約200名、老人40名)のチャプレンをやっています。教会は、聖マーガレット教会に通っています。

安永 和夫 (B 1952文英)

きちんとOB・OG会の運営をされているようで、嬉しく思います。先日、テレビで「ピナフォー」と「トライアル・バイ・ジュリー」を放送していました。DVDに撮っておきましたので、古いOB・OGからご希望があれば、ご協力できると思います。外出をしなくなっておりますので、皆様によろしく！

廣田 淳一 (1955経済)

残念ですが、先約があり、出席できません。

新崎 春子(川喜田) (1957文英)

あいにく先約があり、伺えません。御盛会をお祈りします。

寺本 睦夫 (B 1957文基)

残念ですが、欠席させていただきます。御盛会をお祈りいたします。9月に地元の合唱団(十勝アマデウス合唱団)でモーツァルトのレクイエム演奏会を行います。私も参加予定で、現在、練習に励んでおります。

今井 和道 (O 1958文英)

96歳の老母の介護。いよいよ朝晩は、在宅しなければならなくなりました。

関本 実 (T 1958経済)

まだ現役?で働いています。当日は出張中のため出席できません。皆様のご活躍を祈っています。

野田 敏子(小林) (S 1958文社)

所用があり、欠席させていただきます。

杉野 一郎 (T 1959経済)

もう少し時間が欲しいです。これからもどうぞよろしく、お願いします。

小野 翠(穂積) (S 1960文心)

どうぞよろしくご祈り致します。年相応でしょうか、ウロウロするばかりです。

中川 直美(藤田) (1960文英)

年令相応に診察券の数も増えて……でも、今のところ食事制限等ありませんので、日中はかなり元気に過ごしていますが、夜の外出はすっかりおっくうになってしまいました。

成田 弘子(平野) (S 1960文心)

主の平和 皆様のご活躍、ご奉仕に感謝します。当日は、不都合で伺えません。夕の礼拝と会が、神様のみ恵みに満たされて、実りあるものでありますよう祈ります。元気で学校、教会で活躍しています。立教は、私の誇りです。感謝！

大澤 祐二 (1961経済)

古希を過ぎましたが、元気でやっております。

杉山 榮一 (B 1961経営)

杉山 百合子(上田) (A 1961文英)

元気に過ごしております。また、機会があれば参加出席したいと思っております。今回は失礼致します。ご盛会を祈ります。

福代 亮三 (B 1961経済)

春秋の奉唱会にOBとして参加したいと思いつながら、参加していませんでした。昨年、奉唱会の常

連だった辺見先輩が亡くなったことを知り、「出来ることは、出来る時にやっておかななくては」と知り、昨年度から奉唱会に参加しています。

橋本 圭子(今村) (A 1962文心)

聖歌隊のますますのご発展と、隊員とOB・OGの皆様のご健康を、心よりお祈り申し上げます。

長谷川 淳子(岡) (S 1962文心)

残念ながら先約があり、欠席とさせていただきます。御盛會を心よりお祈り申し上げます。

山田 弘美(林) (1962文史)

6月27日～7月11日まで、スイスに行ってきます。主人や主人の古いお仲間等10名程で、アイガーやマッターホルンを望みながら、お花畑をトレッキングしてくる予定です。

斎藤 潤子(品川) (S 1964文英)

ご盛會を、お祈り致します。

高木 邦子(和氣) (S 1963社社)

当日、所用のため残念ながら欠席とさせていただきます。ご盛會をお祈り申し上げます。

高橋 委作 (1963文心)

高橋 芙木(稲垣) (1963文史)

御盛會をお祈り致しております。

滝口 俊子(三浦) (1963文心)

皆さまのご奉仕に感謝申し上げます。

西宇 明男 (1963法法)

2004年より、タイにロングステイしており、出席できません。

小笹 絢(南部) (S 1965文英)

二つの宗教曲専門の合唱団に入り、練習しています。バッハほかラター、ホミリウスの「ヨハネ受難曲」という珍しい曲をやっています。美しく歌うのはいかに難しいかを実感する日々です。こんなに教会音楽が好きになったのは、聖歌隊のおかげと思います。

河野 礼子(壱岐) (A 1965文心)

体調を崩していますが、徐々に回復に向かっています。ご盛會をお祈りいたします。

大塚 万紀子(黒部) (A 1966文英)

主人の勤務の関係で、今後2年間、岩手県に住む予定です。よろしくお祈り致します。

岩川 武彦 (B 1967経済)

なまけ者の私は、忙しく年金生活を過ごしております。

菊地 滋子(松本) (A 1967文史)

これからも機会がありましたら、日曜のチャペルの礼拝に伺いたいと思っております。ますますの発展をお祈りします。

小磯 幸彦 (T 1969経済)

先約があり失礼致します。ご盛會をお祈り致します。

相沢 牧人 (B 1970文史)

忙しくしています。決して良いことではありませんが、教会の現状がそうさせています。

加藤 博道 (T 1973社社)

日本聖公会東北教区主教として、広い東北6県を駆け巡る日々です。自然の美しさ、食の幸もさることながら、「礼拝と音楽」が日々の務めと、いつも共にあることは大きな恵みです。『礼拝と音楽』と言えば、同名季刊誌(日本キリスト教団出版局)の編集・企画委員もしています。手にとっていたら、幸いです。

渋澤 博子(高田) (S 1974文基)

ご盛會をお祈り致します。

榎本 ひろ美(中山) (S 1975文英)

元気に暮らしております。

今井 めぐみ(原) (S 1976文仏)

今度は、杜の都仙台です。緑に恵まれた、とても住みよい所です。遊びに来てください。

栗原 正志 (B 1976文教)

栗原 牧子(田端) (A 1976文心)

牧子は、29日に所属合唱団のジョイント・コンサートがあり、残念ながら無理です。正志は、やはり学校関係の用事があり、参加できません。

くれぐれも皆様、ご自愛くださいませ。

阿部 智子(三保谷) (A 1977文史)

OB・OG会のホームページも開設され、ますますの充実を期待しております。

佐々 義子(斎藤) (A 1978理物)

今年こそはと思っておりましたが、出張になり、残念ながら欠席です。公私ともに立大choirメンバーに支えられ、感謝のみです。

中尾 志朗 (B 1978文基)

4月に新潟に赴任致しました。皆様には御盛會を祈っております。

秋葉 晴彦 (T 1979社社)

各地を転々とするたびに、いそがしさが増していくように思われますが、加齢に伴う現象でしょうか？ ご盛會をお祈り申し上げます。

田澤 利之 (B 1979法法)

ご盛會をお祈りいたします。

5月25日(日)、阿部智子さん、長田睦子さんが中心になって、総勢14名のOB・OGが鎌倉聖ミカエル教会の礼拝奉仕をしてくださいました。教会信徒との交わりの時もあり、本当に楽しく、うれしいことでした。感謝です。

小島 真理子(坂内) (A 1981社社)

今年もうかがえず申し訳ありません。心暖まる楽しい時間となります様に。

町田 宏 (B 1982経済)

遠く九州の地から、皆さまのご繁榮をお祈りしています。

末廣 禎一郎 (B 1985文仏)

末廣 里夏(高橋) (A 1985文英)

現役の皆様のご活躍を、お祈り申し上げており

ます。

角田 朝子(根本) (A 1985文史)

一昨年、歌い始めて20数年にしてソプラノに転向し、サロンコンサートでイタリア近代歌曲やオペラアリアを歌っています。しかし、どんな曲を歌っても、私の原点はクワイヤーにあると、しみじみ思います。今年も残念ながら参加できませんが、ご盛會をお祈りしています。

相浦 猛 (B 1986文史)

相浦 智(芦立) (A 1986文基)

残念ながら欠席させていただきます。総会・懇親会の上に、主の祝福を心よりお祈りいたします。

三人の息子たちも大きくなり、長男は高校三年生。聖歌隊でさんびしていた私たちの年に近くなり、不思議な感じです。主をほめたたえるさんびの歌声が、これからも礼拝堂に響き渡り続けますよう、祈りつつ……。

内田 幸子 (A 1987文史)

相変わらず毎日バタバタすごしています。当日は先約がありますので失礼させていただきます。

窪田 恵理子 (A 1991文基)

なかなか参加できず、ご協力もできず、でもご連絡いただき、感謝しています。どうぞ皆様もお身体に気をつけて、また、会がご盛會でありますよう、お祈り申し上げます。

汲原 宏枝(石井) (A 1992経済)

昨年は参加予定でしたが、当日、子供が水ぼうそうになり、泣く泣く欠席(泣)。今年こそは出席できますように……(祈)。そんな状態ですのでOB・OG会の役員に名前を連ねるのも、申し訳なく思っています。昨年に引き続き、20代、30代のOB・OGの皆様のご役員参加を、ぜひぜひお願いいたします！

大野 恭義 (B 1995文教)

大野 菜穂子(荒木) (S 1993文史)

この春に下の娘も小学生になり、生活も変わりつつありますが、元気にやっています。

同世代の皆様、忙しいことと思いますが、OB・

OG会への参加、会報への近況のお知らせを心からお待ちしています！

大谷 とも子(加藤) (A 2002福祉)

皆様のご多幸を、お祈りいたしております。

平野 詩帆(小暮) (S 2002文英)

最近、新婚旅行で、モルディブに行きまして。聖歌隊の皆様にもお会いしたいのですが、今回は欠席させていただきます。

岡本 領 (T 2003観光)

岡本 絵美(渡辺) (S 2004文心)

2007年10月に、立教学院諸聖徒礼拝堂で結婚致しました。これからもよろしくお祈り致します。

矢嶋 大輔 (B 2003福祉)

皆様のご健康、ご活躍をお祈り申し上げます。

一戸 祐子 (S 2004観光)

今回は欠席させていただきます。ご盛会をお祈り申し上げます。

沖田 直哉 (B 2004文基)

今年10月5日に立教チャペルにて、田崎恵さん(07・日・オケ所属、田崎安男主教の孫)と結婚することとなり、現在その準備で大騒ぎとなっております。昨年、校友会事務局にて総務委員を務めていることもあって、何かと大学と付き合いの多い今日この頃です。

矢島 優里 (S 2005理化)

申し訳ございませんが、自教会の奉仕とかさなってしまったため欠席させていただきます。

近況ですが、仕事面では念願の(?)リーダー候補生となり、「人を見る」ということで日々奮闘しています。忙しくなり、聖歌隊の行事にも足を運ぶ機会が減ってしまうかも知れませんが、出来る限り覚えて、足を運べる時は、みなさんに会いに行きます。

会のご盛況をお祈りいたします。 栄光在

原 愛弓 (A 2008福祉大)

総会に、ぜひとも参加したかったのですが、この春から就職した仕事の会議と重なってしまったため、申し訳ございませんが、欠席させていただきます。

以上、総会および懇親会の出欠葉書にお寄せいただいたメッセージ、近況報告などを、ご紹介いたしました。

立教大学諸聖徒礼拝堂聖歌隊OB・OG会会報
第五号

発行日/2008年6月28日

発行元/

立教大学諸聖徒礼拝堂聖歌隊OB・OG会事務局

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

立教大学6号館6320

スコット・ショウ研究室